

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 12 月 19 日 (2013.12.19)

【公開番号】特開 2012-104617 (P2012-104617A)
 【公開日】平成 24 年 5 月 31 日 (2012.5.31)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-021
 【出願番号】特願 2010-251352 (P2010-251352)
 【国際特許分類】

H 0 1 G 11/66 (2013.01)

H 0 1 G 9/008 (2006.01)

H 0 1 G 9/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 G 9/00 3 0 1 F

H 0 1 G 9/04 3 5 5

H 0 1 G 9/04 3 5 2

H 0 1 G 9/24 B

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 1 日 (2013.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 3 】

このような位置決め凸部 7 2 を備えた封口板 2 2 を備えれば、位置決め凸部 7 2 で陽極集電板 1 2 及び陰極集電板 1 6 を所定位置に位置決めし、間隔 6 1 を所定幅 w に維持することができる。即ち、位置決め凸部 7 2 の円柱状部 7 4 では陽極集電板 1 2 及び陰極集電板 1 6 の円弧状切欠部 5 0 を嵌合させ、各平板状立壁部 7 6 の側面に各陽極集電板 1 2 及び陰極集電板 1 6 を接することにより、陽極集電板 1 2 及び陰極集電板 1 6 が所定位置に位置決めされる。この位置決めにより、陽極端子 1 0 の端子側接続面 6 4 と陽極集電板 1 2 の接続面 5 2、陰極端子 1 4 の端子側接続面 6 4 と陰極集電板 1 6 の接続面 5 2 をそれぞれ一致させることができ、レーザ照射による接続の安定化を図り、接続精度を高めることができるとともに、位置決め凸部 7 2 によって、陽極部 6 及び陰極部 8 が確実に絶縁隔離される。